

# かんもん北九州ファンクラブ



## 第139号

2020年夏号[季刊]

発行者：藤城 昌三

〒337-0006  
さいたま市見沼区島町  
433-31

TEL：048-685-5773

## ふるさと讃歌

副代表 中野栄二



会員の皆様には新型コロナウイルス（covid-19）禍で大変な思いをされた事と存じます。一日も早く、元気に再会できる日を楽しみにしております。

私の祖父母・両親・兄は小倉に住んでいましたが、戦時中に父方の故郷の豊前市角田町に疎開しました。当時、お腹にいた私は、母の実家の築上郡椎田町湊で誕生。妹は角田で生まれました。兄妹3人がそれぞれ別の場所で誕生したことになります。戦時中の大変な時期に良く生んでくれたと、両親に感謝しています。

私は角田小学校・中学校・築上中部高校へと進み、大学は熊本に行きました。就職してからは横浜、東京が中心（途中6年間関西に単身赴任）でした。定年退職後も横浜で第三の職場で勤務しております。

50代の半ば頃から故郷を思う気持ちが強くなり、高校・大学の同窓会に積極的に参画してきました。地元で開催される中学校の同期会（全員で68名と少ない学校）にも、案内が届けば毎回出席しました。私は最も遠い地区からの参加者として、特に歓迎されました。

かんもん北九州ファンクラブの過去の会報で確認しましたが、当クラブには2010年夏に入会しております。私の出身の豊前市は当クラブの会員資格では東南端になります。今、思えば良く会員にしてもらえたな！と有難い気持ちでいっぱいです。

当クラブに入会してからは故郷を想う多くの方々との絆もより深くなりました。今後も当クラブの発展に微力ではございますが、尽力してまいる所存でございます。

私は九州在住22年→今年で横浜在住54年になります。関東の生活の方が長くなりましたが“ふるさと”を想う気持ちは誰にも負けないものを持っているつもりです。

私の尊敬する先輩の言葉“お世話になった地域に寄付等でお返しして土に還る”を、心掛けたいと思います。

ところで4ページの「わがふるさと豊前市」をぜひ読んでください。

これは前述で私が豊前市の出身と言いましたが、その豊前市の紹介をということで親しい後藤市長にお願いしたところ直々に原稿をいただきました。なにしろ市長本人の紹介なのでありがたいことです。

## 第 43 回歴史講演会のご案内 (延期開催)

歴史を楽しむ会 世話人代表 井崎淳一郎



4月23日開催予定だった歴史講演会を下記にて延期開催しますので、奮って参加をお願いします。

### 1. 演題：江戸の罪と罰—時代劇のウソ・マコト

江戸時代中期の名裁判官、南町奉行の<sup>おおおかえちぜんのかみただすけ</sup>大岡越前 守 忠相、「遠山の金さん」こと民情に通じた北町奉行の遠山金四郎、「鬼平」こと凶悪犯逮捕に辣腕をふるった火付盗賊 改<sup>ひつけとうぞくあらため</sup>の長谷川平蔵など時代劇のスーパーstarは、相変わらず人気を博しています。

そうした時代劇には、ご存じのようで実は知られていない意外な姿や形が隠されています。

たとえば「とりもの」は元来「捕者」と表記されていて、「捕物」は文学上の表現です。

今回は、捕物劇における虚構と実際を比較しながら話を進めます。捕者の理念、<sup>じって</sup>十手、<sup>ごようちようちん</sup>御用 提灯、<sup>とり</sup>捕縄など捕者道具の扱い方、捜査機関や裁判システム、刑法典や刑罰体系などのウソとマコトをご一緒に「吟味」してみませんか。お運びのほど、心からお待ちしています。

### 2. 講師：伊能秀明氏 (前明治大学調査役、法史学専攻)

### 3. 日時：令和2年8月27日 (木) 18:00 ~ 20:00

### 4. 場所：九州工大鳳龍クラブ 港区新橋2-20-15

新橋駅前ビル1号館5階 (03-3572-2009)

### 5. 参加費：2,000円

### 6. 申込み：8月20日 (木) までに、メール (kankitafc@gmail.com) 又はFAX：03-5539-3819でお願いします

なお、講演会終了後、希望者での懇親会を予定しています。(会費3,000円)

申込み時に懇親会の出欠につきましてもご連絡願います。

以上

## 第 45 回歴史講演会のご案内

歴史を楽しむ会 世話人代表 井崎淳一郎

下記要領にて歴史講演会を開催しますので、奮って参加をお願いします。

### 1. 演題：どこが凄いの？ 俵屋宗達 ~名作「風神雷神図」を読む~

近年、日本美術に対する関心が高まっています。とりわけ、浮世絵と共にブームとなっているのが「琳派」芸術です。「琳派」が表現した世界は、「日本美の典型」と言われており、その先駆者が俵屋宗達です。

俵屋宗達は、大和絵の伝統を大胆に革新し、独創的な絵画を生み出しました。その斬新な美意識は、その後、尾形光琳、酒井抱一へと時代を隔てて継承され、現代美術にも生きています。その根底に流れる美学とはなにか。

国宝「風神雷神図屏風」を始め、俵屋宗達の代表的な作品を読み解くことによって、私たちが普段は意識していないにも関わらず、そのDNAの中に潜んでいる日本的な美意識を喚起します。

### 2. 講師：斎藤陽一氏 (美術ジャーナリスト、美術史学会会員、元NHKプロデューサー)

### 3. 日時：令和2年10月14日 (水) 18:00 ~ 20:00

### 4. 場所：九州工大鳳龍クラブ 港区新橋2-20-15

新橋駅前ビル1号館5階 (03-3572-2009)

### 5. 参加費：2,000円

6. 申込み：10月7日（水）までに、メール（kankitafc@gmail.com）又はFAX：03-5539-3819でお願いします

なお、講演会終了後、希望者での懇親会を予定しています。（会費3,000円）

申込み時に懇親会の出欠につきましてもご連絡願います。

（お知らせ）

6月19日開催予定だった第44回歴史講演会は11月13日開催となりました。まだ先になりますので秋号（140号）で改めて紹介致しますのでよろしく願致します。

以上

## 私の疫病神対策

かんもん北九州ファンクラブ代表 藤城昌三



新型コロナウイルスは現代の疫病神にあらずして何であろう！

5月連休の朝、無精ひげを剃ろうと鏡を覗くと鼻毛が伸びていたので小型はさみを取り出し、やおら切ろうとしてハタと手が止まった。

20年前、サラリーマンだった私は新製品開発の部署に所属していた。会社は産業用粘着製品や紙製品の製造を主としていて新分野への進出を求めている。

ヘルスケア市場への参入を目指し、火傷に効用がある「創傷被覆材」の開発を目的に大学病院の形成外科を中心に全国を飛び回っていた。

そんな折、東京大学病院の口腔外科のドクターから「鼻呼吸」用のラベルの開発を依頼されたことがあった。人間は呼吸するのに本来は鼻から呼吸するべきだが口から呼吸する人が多いそうで、特に日本人は乳幼児期にオシャブリを早めに外すので口呼吸が多くみられるそうだ。電車の中で口を開けて寝ている人が多いのは日本の名物とさえ言われている。欧米では3～4歳児までオシャブリを使用させ、鼻呼吸を自然と覚えさせているとのこと。口呼吸の弊害は例えばアトピーもその一例とドクターは言う。粘着ラベルは価格が高くて採用されなかったが「鼻呼吸」の大切さを学んだ。

漢方では肺は人間の裏表の接点であり、肺に空気を送るのに無防備な口からでなく、鼻の粘膜や鼻毛の防御が役に立っているとも教わった。

その重要な鼻毛を疫病神が跋扈する今、切ってしまうとは無謀なことだ。

400年もの昔、加賀百万石藩主前田光高は徳川将軍に拝謁する時、鼻毛を一寸近くも伸ばしていたそうで、松の廊下を歩いて行く姿を茶坊主どもは陰で嘲笑していたことであろう。武家諸法度に背くと瑕疵ほどの罪でも領地を没収する幕府の政策に諸国の大名たちは戦々恐々としていた時代に光高は愚鈍な藩主と見せて幕府に二心があるとは思わせない賢い姿であった。

令和の時代、鼻毛一寸は疫病神に「あいつは阿呆だから取り付いても効果ナシ」と思わせる賢明な策ではないだろうか。鼻毛一寸が先か、疫病神の厄介払いが先か？



私の新型コロナウイルス対策（画/吉川契太・会員）



再開は慎重に（画/吉川契太・会員）



## 【遊・食・自然の里】豊前市の紹介

豊前市長 後藤元秀



豊前市は昭和30年に9町村が合併して誕生しました。

南部に山伏、修験道の求菩提山（標高782m）やツクシシヤクナゲ群落（国の天然記念物）が見られる犬ヶ岳（同1,130.8m）がそびえ立っています。

添田町の英彦山（同1,199m）とともに西からの強風、豪雨を防ぐ衝立となって豊前の地を守ってくれています。まさに神の、仏の峰です。

こんな自然に包まれた求菩提山のふもとにあるキャンプ場のログハウスと岩岳川の河川プールが人気で、昨年から通年営業。山伏の家屋を昔のままに復元する工事が進行中です。この修験道の影響を受けた神楽が大分県境を越えた旧豊前の国15団体（現在は追加指定で39団体）が神楽とともに平成28年に国から重要無形民俗文化財指定を受け、秋には市内50か所以上の神社で神楽が楽しめます。

北西部に位置する、宇佐八幡宮への勅使が使ったといわれる井戸が残る大富神社の神幸祭で舞われる感応楽（かんのうがく）も今年、国が重要無形民俗文化財に指定。岐阜県・郡上八幡の郡上踊りなどとともに「風流踊」としてユネスコの世界無形文化遺産を目指しています。

北部の海岸沿いには同28年初夏に開業した海の6次産業化施設「うみてらす豊前」が目目の前の豊前海（福岡県内では周防灘ではなく）で漁師さんたちが水揚げした魚介を活きたまま水槽で直接販売。加工室では、熟練の技を駆使して魚をさばいてくれます。80歳代の長寿の方も活躍しており、市が目指す「生涯現役」の場でもあります。2階では、関門海峡から国東半島先の姫島までの水平線が広がり、北東方向40km前方に宇部市の工場群が見通せます。ここでは漁師のお母さんたちが手づくりの料理をふるまう漁師食堂が旬の魚を提供、市の大きな観光拠点になっています。

直売所では、夏にかけてコショウダイやハモ、夏ガニ（タイワンガザミ）が格安です。ハモは食べやすく切り込んでくれます。秋からの豊前本ガニ（ガザミ）や脂ののったサワラ。晩秋のヨシエビ。冬場の豊前海一粒かき、早春の甲イカ。春、のっこみ（産卵）期のイシダイやアコウ（キジハタ）など高級魚や健康食として人気の海藻アカモクなど。いつ行っても楽しく、美味しく、話題の多い施設です。

「遊 食 自然の里」豊前がもっともっと魅力ある街になるために資金が必要です。「ふるさと納税」を「企業版」も併せて募集しています。あなたのお知恵とお力、お気持ちをお願いします。

続きは次号（秋号）でお楽しみ下さい



キャンプ場



ツクシシヤクナゲ



神楽



感応楽



## 会員寄稿 ブラジルの思い出

西南女学院短大 11 回卒 東ツヤ子



ラジオで宮崎県民謡「刈干切唄」を聞き、興奮さめやらぬ翌日、回覧板での民謡講座生徒募集で即入門。人前で話すこと、唄う事など出来ない引っ込み思案の性格だった私。以来民謡・三味線の指導者となり五十年<sup>(\*1)</sup>。唄との出会いにより、一九八八年ブラジル日本人移民八十周年記念式典に民謡使節団員として参加し、ひたすら二十八時間朝にむかいブラジルへ。サンパウロ市のパカエンブー競技場で秋篠宮殿下ご臨席・団員の一員として民謡・三味線の披露、熱い思いに胸震わせる思いの感動でした。

次の日からは慰問の日々、まずは明治四十一年、笠戸丸での日本より三ヶ月かけての船旅でブラジルへ。苦難の数々を過ごされていらっしやるサントス厚生老人ホーム慰問。

日本の唄と踊りに一緒に口ずさまれ、炭坑節で踊りの輪が出来、時間を忘れるひとときでした。会場までにこられない方のお部屋にお邪魔すると、柳行李と、お位牌が片隅に、いつかは日本に帰る日を待ち望まれている事とお察しました。

海に手を入れこの向こうにつながっている日本があるとの思いを聞き、胸が熱くなりました。次の日の公演は延々と右も左も景色の変わらない真っ

すぐの道、8時間かけての舞台、皆さんの熱気あふれる会場を後にして次の日の公演、昨日公演を聞かれた観客の方々、8時間かけて又聞きにこられているのにびっくり。公演後の親睦会皆さんの日本の心を大事にした手料理で再開を約束した通り2度目の来伯をすることとなりました。

日本の芸能は脈々と二世、三世の方々に受け継がれ、改めて心して勉強をしなければと教えられる事を感じました。帰国後もブラジル在住の福岡県人会、熊本県人会の方々と日本の交流も懐かしく嬉しい思い出です。それぞれの故郷をご一緒にたずね、思いがけない親戚の方との再会は言葉に尽くせない、感動と喜びを共に戴いたことに感無量の気持ちでした。相田みつおさんの言葉、いちずに一本 いちずに一つ事、これからも出会いを大切に唄っていきたくて願っています。

かんもん北九州ファンクラブの益々の発展を祈念しますとともに、入会をすすめていただいた豊田千年さんに感謝申し上げます。又皆様とお会いする日を楽しみにいたしております。

(\*1.東ツヤ子さんは「民謡藤本流師範」をされておられます。：編集者\*注)



# 私とシャンソン

幹事 井出悠子 (シャンソン歌手)



“「眠っている間に」「夢見てる間に」「時は流れ過ぎて行く」「子供の頃はもう夢の中」「時は、時は、今も過ぎて行く」”

1989年11月、私はこの「時は過ぎて行く (吟遊詩人ジョルジュ・ムスタキ作)」というシャンソンを名古屋市主催全国シャンソンコンクールで歌い、奨励賞をいただきました。

これをきっかけに私はシャンソンに夢中になっていきました。10年間のシアトル市での生活後帰国して、元・銀巴里歌手の新田耕一先生に師事して10ヶ月目のことでした。

翌年1990年4月銀巴里オーディションで「愛の賛歌」を歌い、一次合格したものの二次で落ちてしまいました。そして「来年こそは」と燃えていたのですが、この年末、銀巴里は閉店してしまいました。

閉店の最後の日、お客様は60メートルくらいの行列をしていました。

私は「銀巴里歌手」というお墨付きを逃してしまい本当に悔しい思いをしました。

昭和26年から40年続いたシャンソンの殿堂、シャンソン歌手の登竜門であったシャンソン喫茶「銀巴里」がどうして閉店になったのか？ 開店から閉店までの銀巴里の歴史です。

戦後の焼け跡に銀巴里が開店した1951年から60年、70年代頃はシャンソンは大ブームで、演奏は原孝太郎と東京六重奏団、美輪明宏 (丸山明宏)、沢康子、戸川昌子、古賀力、中原美沙緒、宇井あきら、仲マサコ、金子由香利、岸洋子、宇野ゆうこ、菅原洋一、小海智子、青江美奈、田代美代子、加藤登紀子、平野レミ、クミコ等、数百人の歌手を輩出しました。入場料は何と100円だった由。230席は連日満席。丸山明宏は「シスターボーイ」と呼ばれて注目され、「メケメケ」の「ばかやろう！」が衝撃を与えました。そして自ら作詞作曲した「ヨイトマケの唄」は「和製シャンソン」として注目されて、客席は才気あふれる若者たちの溜まり場で、三島由紀夫、江戸川乱歩、五木寛之、遠藤周作、吉行淳之介、川端康成、安岡章太郎、寺山修司、野坂昭如、田宮二郎、岡本太郎、中原淳一、菅原文太、林家三平 (初代)、中村勘三郎 (17代)、なかにし礼等々が常連でした。

さて、2代目オーナー「作本正五郎」氏の理念は「シャンソンは常に良き大衆文化でありたい」と入場料は100円⇒550円⇒1,800円と変わりましたが、お金がない若者や学生に安い料金でより質の高い音楽を聞いてもらいたい。映画館の1,800円より上げられないと、閉店の頃も1800円でした。

ステージは4楽器カルテット、平日は5ステージ、土日祭日は10ステージ行われていて、22時の閉店まで何ステージでも聞くことが出来ました。ところが1990年の青天のへきれき「消防法改正」なる法律が出来て200平方メートル以上のライブハウスには消火用スプリンクラーの設置が義務付けられ、戦後の昭和26年に建設され老朽化したビルの地下は大工事が必要となり、それは戦後すぐの安い家賃の契約を新しい契約にすることを意味し、新家賃は1990年の銀座の地価に基づき何十倍にも跳ね上がり、入場料1,800円ではとても運営できない。お一人様7万円ほどの高級クラブになってしまい、それでは今までの銀巴里の理念の意味がなくなってしまふ。というこ

協賛  
広告

湖月堂 菓子業 株式会社



本店 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町1-3-11  
TEL 093-521-0753  
本社 〒802-8691 福岡県北九州市小倉北区赤坂海岸3番2号  
TEL 093-541-0961  
フリーダイヤル 0120-47-0961  
Fax 093-541-3756

栗饅頭の湖月堂  
菓子業一筋、松本清張にも愛されて今日に至っています。日露戦争勝利を愛でた勝ち栗からの命名された由緒ある「栗饅頭」を御茶受けに、ご進物にご利用下さい。  
HPアドレス <http://www.kogetsudo.com>



とでオーナーの作本正五郎氏はお店を閉じる決心をされたとのこと。

私も40年間シャンソンを歌って来ましたが、フランス革命の「自由・平等・博愛」の香りがするシャンソン、現実の貧困、苦悩、悲しみへの温かい眼差し、人と人の温かい心の触れ合いをテーマに歌うシャンソンをこれからも愛し、歌い続けていきたいと願っています。

シャンソン「オー・シャンゼリゼ」の替え歌「かんもん北九州の歌」、「おー、かんもん北九州、おー、かんもん北九州、いつもなにか素敵なことが、あなたを待つよ、かんもん北九州」

Let's Sing Together !



渋谷青い部屋のスタッフたち



戸川昌子・美川憲一・井出悠子



コスモ音楽教室&産経学園シャンソン教室合同発表会(vol.8)  
2018年9月23日(日)

弟子たちにかこまれて

協賛広告

東京校(日本橋)

東京校(北九州)

東京校

# 強医い

生徒数全国 **第3位!**九州・山口ではダントツ**No.1!!**

0120-181509

学校法人  
専修学校

北九州予備校 東京校(日本橋)

北予備

努力は実る

# ☆高校物語☆ 「小倉高校 その3」

高12・小倉高校関東明陵同窓会顧問 長寄新一



## 3. 月例会20年、213回の歩み (続き・平成17年から)

### 平成17年(2005年)

- ・高21河津優司「古建築の見方、寺院・神社・城」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・\*長野研一「最近の製鉄業と製鉄原料を巡る問題」新日鉄資源調査
- ・高19安西敢「世界の絵画市場」
- ・\*エリ・コーヘン在日イスラエル大使「外交・友好、空手と共に～日本武士道とユダヤ魂」
- ・高27吉村克信「先端技術夜明け半導体・ナノテクノロジー」
- ・高29豊田朋康「映画の興行について」
- ・\*山内恵介(歌手・演歌)
- ・高12水上洋一郎「日本から見た日韓関係」
- ・高31秋田英滯子「チャンスが東になってやって来る」
- ・\*アサヒビール守谷工場見学会
- ・高14岩元勝昭「寒天の話～美容と健康」
- ・高27松川昭(ピアノ弾き語り)

### 平成18年(2006年)

- ・\*田島豊「最先端医療機器 PETについて」
- ・中33濱田泰三「道元とその時代」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高11田尾吉紀(靴のマジメ)「四国お遍路の映像と経験談」
- ・中33濱田泰三「道元とその時代2」
- ・中33山岡誠「蛭来い、こっちの水は甘いぞ」
- ・高37和田徹「フルキャストの成長とアウトソーシング活用」
- ・高02汐月弘明「私の見てきた世界」
- ・高09弘中善夫「人と森林との共生～歴史的視点から」
- ・高25藤井隆「あいっでも飯を食っている!」
- ・高38谷口英治(クラリネット・ジャズカルテット演奏)

### 平成19年(2007年)

- ・高12松尾弘一「サッカーを通じた子供との付き合い方」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高07玉井研一「山歩きの楽しさ～映像に捉える苦労話など」
- ・高02汐月弘明「パナマ運河の仕組み・中米の見聞記」
- ・\*美作ゆうこ「江戸の前島～埋立工事」
- ・高08桑本洋「イーजीリスニングをご一緒に」
- ・高14和田廣志「空挺部隊の役割」
- ・高22鬼塚信子「いざという時に備える自分らしく生きる為」
- ・高24都甲和幸「裁判所建築のあゆみ裁判の世界を建築からアプローチ」

### 平成20年(2008年)

- ・高08近藤順郎「東京タワーは何なのか～目的・概要・歴史」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高13和田みな「茶の湯(茶道)の楽しさ」
- ・高13千綿正機「石灰石鉱山について～鳥形山の開発」
- ・\*吉村靖夫「日本列島一周徒歩の旅」
- ・高04山本昭生「カナダへの想い」

- ・高14金氏顕「どうなる?エネルギー資源問題と地球温暖化問題～原子力の再評価」
- ・高06茅田俊一「難しいワインを易しく飲む」
- ・高20都甲栄充「マンション考～建築会社勤務17年・不動産会社勤務18年・居住マンション理事長歴17年からの独り言」

### 平成21年(2009年)

- ・高12木田誼「江戸名所図絵を歩く楽しさ」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高07島野穹子「ラテン語楽しみ」
- ・高19吉竹純「短歌は楽しい(2011年歌会始に選ばれる)」
- ・\*武田光司「世界遺産について～世界遺産検定ガイド」
- ・高07田村やす子「同時通訳は最後の職業」
- ・高25友田敦久(三井物産)「総合商社の挑戦と創造」
- ・高33安河内剛「スポーツとしてのボクシング再生」
- ・高13井上祐介「アドマンから見た中国の今昔」
- ・高25中野稔彦「ベンチャーキャピタル社会的役割と課題」
- ・\*小浜正幸「ブッシュからオバマへ～私の見たアメリカ」

### 平成22年(2010年)

- ・高22久保田仁「私が見たベンチャー歴史～ITから環境」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高09北口良隆「アフリカの情勢」
- ・高11秋本敏文「世界に誇ります、日本消防」
- ・高05福地茂雄「いつでも、どこでも、みなさまのNHK」
- ・高25森田順平「俳優業を続けて来て」
- ・高05大家重夫「北九州と著作権問題」
- ・高25黒井義博「電気自動車が街を、暮らしを変えて行く」
- ・高12川畑昭「正倉院と度量衡」

### 平成23年(2011年)

- ・中26湊秀雄「小倉中学の伝統の一端」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高17今西祐一郎「源氏物語はどんな字で書かれていた?」
- ・高38武田良太「漂流する日本政治の危険」
- ・商22林良雄「冤罪被害者にならないために」
- ・高35中山貴憲「日本の水産の百年「グローバル資源戦略」
- ・高38谷口英治「クラリネットジャズとビールを楽しむ」
- ・高17高木登「シェークスピアを読む・観る楽しみ」
- ・高29石飛博之「水の安全と供給の確保」
- ・高25渡部博之「情報通信技術と同窓会等での活用について」

### 平成24年(2012年)

- ・高25浜村良久「軍事心理学～心理学は外国の軍隊でどのように使われているか?」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高18田中博昭「新生紙パルプ商事(株) 創業者と歴史」
- ・高37田口淳「東京スカイツリーの建設余話」
- ・高38大嶋一馬「東日本大震災とNPO法人ロシナンテス」
- ・高21池辺裕昭「エネルギーの新たな価値の創造」



- ・高37戸莉章博「JPタワー（旧中央郵便局）」
- ・高14仲摩徹彌「わが国民の国防感」
- ・高14吉野洋一「公共工事入札の諸問題について」

平成25年（2013年）

- ・高05福地茂雄「読書から学ぶ経営の知恵」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高38中島正樹「なぜ、日本のジーンズが世界一になった」
- ・高40青木浩介「長期の物価変動と経済活動」
- ・高42岡崎義一「我輩はデザイナーである」
- ・高25上野俊司「復興まちづくりの現状と課題」
- ・高21三木俊克「知的財産「国内外状況と人材育成」
- ・高20佐野展雄「船の四方山話」
- ・高13田居久江「お迎え間近の人のためのインチキ書道指南」

平成26年（2014年）

- ・高14梅谷秀治「The Theme Park 東京ディズニーランド」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高32鶴田浩之「スポーツとグローバリズム」
- ・高48井上哲仁「中国の実態と現実を見る」
- ・高12宮崎俊彦「絵は道連れ！」
- ・高16山田隆彦「日本のスミレたちを訪ねて」
- ・高32村上清治「複写機と水着と和食」
- ・高14水戸英則「今なぜ大改革か～安倍政権大学改革」
- ・高21織田健嗣「ガラスとエネルギー」

平成27年（2015年）

- ・高05福地茂雄「読書に学ぶ人生の知恵」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高51竹原ゆかり「食品添加物実験講座・着色料の魔力」
- ・高45堺幸徳「グローバルリーダーに求められるもの」
- ・高18緒方瑞穂「地価の行方～鑑定評価の立場から」
- ・高32阿部孝博「日本航空の経営破綻そして再生への道」
- ・高25繁成剛「生きることを楽しむデザイン」
- ・高26福岡芳穂「映画の楽しさ 映画の楽しみ方」
- ・高13八田達夫「北九州は離陸の寸前にある」

平成28年（2016年）

- ・高05福地茂雄「常識を検証する」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高26藤永昌之「ぬか漬けパワーと免疫力」
- ・高13植田脩三「原子力の誤解を考える」
- ・高18岡本義行「地方創生と人口減少」
- ・高21中上博秋「薬について-上手につきあい健康ライフ」

- ・高26小野喜志雄「想定外事態への対応能力強化に向けて」
- ・高23三輪康廣「オリンピック考（リオから東京へ）」
- ・高49忽那賢志「日本を取り巻く感染症」

平成29年（2017年）

- ・高05福地茂雄「ビジネスで得た先人たちの言葉」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高29石飛博之「災害環境研究の最前線」
- ・高49令官史子「LNGとLNG船の現在とこれから」
- ・高31尾渡英生「地方交通インフラ～湘南モノレール」
- ・高35戸田龍介「日本における農業簿記の研究」
- ・高20福島尚文「東アジアと日本、そして私たち」
- ・高50岩本真幸「北九州市東京事務所の取組」
- ・高12木田誼「時代物小説の舞台～江戸名所図会」

平成30年（2018年）

- ・\*林克郎「(ワトソン) 人工知能の現状と限界」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高25黒井義博「三菱自動車～企業不祥事何故繰返される」
- ・高12長壽新一「月例会20年の歩み」
- ・高37元村有希子「科学技術と私たちの未来」
- ・高49小西孝幸「大廃業時代における中小企業の事業承継の現状と課題」
- ・高23門司健次郎「日本を売り込め～文化外交とソフトパワー」
- ・高49星野賢一郎「21世紀の非営利団体～寄付を獲得する戦略とテクノロジー」
- ・高26木部暢子「ことばは文化の源」

平成31年（2019年）

- ・高36田中（黒柳）千寿江「千夜一夜」
- ・高29柳亭燕路 新春明陵寄席
- ・高24西川哲也「畜産よもやま話～畜産と人の健康、腸内フローラの関係など」
- ・高57一宮暢彦「成長するアフリカ大陸～ビジネスと開発それぞれの今とこれから」
- ・高49 河村知浩「より身近になる宇宙、宇宙を使ってみませんか。」
- ・高24高田昌子「食と健康を科学する」
- ・高29高柳昌弥「米プロバスケNBAを取り巻く常識外の世界」
- ・高26柴崎賀広（長崎龍馬会）「海援隊幕末動向秘話（龍馬さんからのメッセージ）」

【完】

協賛広告



# 来たい・期待・北九州

北九州市へのU・Iターン就職及び移住を希望される方へ  
情報収集にぜひ、ご来所ください！



北九州市東京事務所  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号  
東京交通会館6階（JR有楽町駅前）  
電話：03-6213-0093 FAX: 03-6213-0090  
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kitakyushulife/>



会員の荻原玲子さんに題字を作成していただいたKKFCの第2回俳句教室です。まだ指南役（主宰）が現れませんので、今回もやむなく私めがつとめます。

当「かんもん北九州ファンクラブ」には文化人が多いのですが、なかなか自分では俳人だと名乗り出て来られないので、こちらから「あなたは……ですよね。」とお願いして句を発表していただくことになりました。ぜひよろしくお願ひ申し上げます。

1. 最初は新人です。ご存知の流行作家「山崎ナオコーラ」さんのお母さんに出させていただきました。

もちろん会員の「山崎美知」さんですね。彼女は実は俳人「伊藤敬子」さん主宰の「笹」のメンバーで、笹創刊32周年記念俳句会で呉竹賞を授与された方です。写真は呉竹賞受賞の時に、前に賞状を持っている方が山崎さんです。

伊藤敬子先生による紹介は下記のとおりです。

山崎美知氏は、九州小倉高校のご出身で、誇り高い特性と強靱なる意志を持っている人である。東京銀座句会へも皆出席で俳句を学ぶと言う姿勢において非の打ち所がない。お嬢さんは小説家であると言う。アイデンティティーをもって勉強する俳人は今日ではそう多くない。山崎さんは貴重な俳人の一人であり将来が期待される。……そうです。



呉竹賞授与式後・山崎美知

呉竹賞の中から「春から夏に向かう句」を独断と偏見で選びました。

「麦畑さわさわゆらぎ猫急ぐ」

「梅雨末期別れ際にはふと本音」

「十字軍の這わす蜘蛛の巣夏座敷」

「辻斬りのごと鹿の眼が通りすぐ」

2. 次は阿部英美さんの登場です。前回は「梅に鶯」の俳画もいただきました。

今回も俳画「花菖蒲」をいただきました。「花菖蒲水面を染めて咲き乱る」とあります。

「夏の季語」から2句投稿句があります。句解も阿部英美さんです。

「薫風を画かんと風知草を描く」

若葉の香りを運んでくる風はさわやか。風を絵に描くことは出来ませんが、微やかな風にそよぐ美しい風知草に風を感じて。

「父母がゐて兄弟がゐて大西瓜」

核家族の四分割。子どもの頃は西瓜を丸ごと買って来て祖母、父母、兄弟家族総出でばくついていた大西瓜もはるか昔だなあ。俳句は詠み手を離れて読み手に委ねられます。みなさんに選択して貰えば幸甚です。



花菖蒲（俳画）・阿部英美

3. いよいよ「十時和子」さんです。

実は、前回でも報告しましたが、十時さんは1月26日に上京され、念願の将門塚にお参りされたそうです。もう1ヶ月遅かったら武漢コロナで身動きできなかつたと思います。強運ですね。私めは仕事が詰まってお会いできなかったことが悔やまれます。

さて、今回は前回お預けになった将門塚の句です。

「ビル谷間将門塚の冴返る」

菩提寺雲住寺（うんじゅうじ：大津市瀬田）は平安時代中期「平将門の反乱」で将門を討った大名藤原秀郷（ム



カデ退治の俵藤太)の末裔が建立したお寺です。日頃から雲住寺の住職から平将門公の首塚か東京駅のすぐそばに祀られていると聞いていたので参詣出来てよかったですと思います。

「霊かとも黒揚羽舞ふ忌日かな」

亡き夫の納骨はご住職様のご指導によりまして一周忌にすることになりました。当日骨壺を開けた途端にどこからともなく大きな黒い揚羽蝶が飛び立ち誰かが「黒い蝶が……」と叫びました。1キロほど離れた我が家に戻るとまた黒い蝶が庭に舞っておりました。「夫の霊だ」と感動的でした。(＊十時さんは昨年最愛のご主人をなくされました。しかも彼は私たちがよく知っている同級生でした。合掌。)

4. 最後はまたまた中武純子さんです。

彼女はご存知の通りドイツのフランクフルトに長くおられましたので、その時代の句が多いですね。また彼女の句は柏原さん(本名・柏原啓一・東北大名誉教授・俳人名は柏原眠雨)の「きたごち歳時記」の中で例句として50句ほど取り上げられています。

その中でとくに有名なのが次の1句です。

「道化師の笑ふ白夜の船着き場」

これは作者によると、ロシアのサンクト=ペテルブルクで目にしたものを詠んだそうです。

ロシアの夏は夜9時でも夕方くらいの明るさで、体力も尽きそろそろホテルに戻ろうかなと思ったときに、ピエロさんが疲れ果てた様子で石の椅子にすわっているのが目にとまりました。そしてその泣き笑いの様な顔でこちらを向いて目が合いました。

この句は2016年度「国際俳句交流協会現代俳句協会賞」をいただいたものです。



サンクト=ペテルブルク公園・中武純子

「蟻登る赤く錆びたる野戦砲」

そういえばドイツの統一は1990年でしたね。それまでは臨戦下だったのですね。とくに平和ボケした日本とは違ったと言っても、30年の時が流れました。しかし、まだ野戦砲はこのまわりの風景です。

はい、今回のKKFC☆HAIKU-CLUBはここまでです。本当の主宰、指南役を募集中です。また、次回のKKFC☆HAIKU-CLUBのため、ぜひ句を応募ください。

俳句は言葉を磨くためにボケ防止に最適だそうです。健康のためひとひねりしてください。

協賛広告

ペプトレックス®  
**PeptoLex®**

■ Advantage ■

- ・アスリートに必要な成分が豊富
- ・体の中から美しくなりたい方に最適
- ・体の衰えが気になる方にピッタリ
- ・世界ドーピングテスト合格・自衛隊で採用



- ・天然ペプチドだからすぐに吸収
- ・中性脂肪を燃やし、スリムな体づくり
- ・水に良く溶け美味しい

今なら、会員価格  
1箱 ¥ 3,300  
2箱以上 送料無料



アイエフシー株式会社 〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町8-8-105 URL: <http://www.ifcc.co.jp> E-mail: [umecadia@ifcc.co.jp](mailto:umecadia@ifcc.co.jp)  
代表取締役 梅原英毅 お求めは「ライフサイエンス部」または Amazonで「ペプトレックス」と検索しお求め下さい

# 令和に飛躍！下関港

下関は“みなとまち”です。港湾の活性化はまちの活性化に直結することから、下関市は重要施策として力を入れています。そこで今回は、重点的に進められている2つの事業、「ウォーターフロント開発」と「国際クルーズ拠点の形成」を紹介します。

## ● ウォーターフロント開発

唐戸近くの“あるかぼ〜と”を中心に、関門海峡に面したエリアに上質な空間を創り出し、中心市街地に賑わいを創出していくもので、毎年市の重点施策に掲げ、着実に進めています。過去20年間、2度開発の話が出ては頓挫してきた下関が誇るウォーターフロント地区が、いよいよ花開く時がやってきました。

このウォーターフロント地区は、365日24時間にぎわうエリアを目指し、東は、現在観覧車があるアミューズメント施設の地区から、西は海峡ゆめタワー近くまでの海沿いを、ABCDEの5つの地区に分けて、段階的に開発を進めていきます。



その中のB地区では、平成30年にホテル事業者の公募を行い、日本のみならず世界で評価の高い、(株)星野リゾートの進出が決定しました。下関を「聞いたことのあるまち」から「行ってみたいまち」にすることをコンセプトに、港町として発展してきた歴史的背景や、関門海峡の景観を活かすようなホテルを建設することとなっています。また、周辺との連携を深める取組など、施設だけでない新たな魅力の提供が期待されます。平成31年4月に基本協定を、令和2年

3月に事業契約を締結し、令和5年の運営開始に向け、これから整備が進んでいきます。



## ● 国際クルーズ拠点の形成

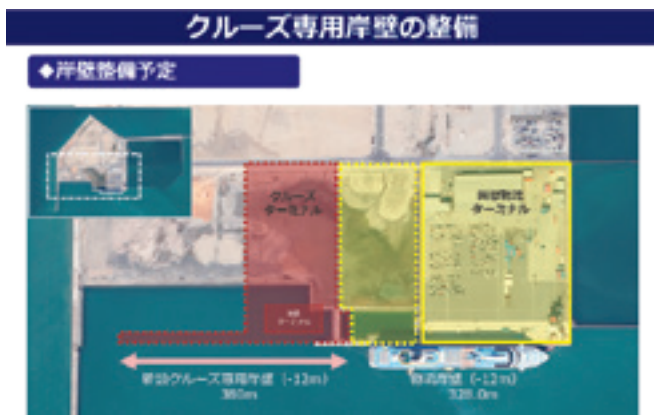
客船クルーズは、近年は中国人を中心とするアジアのマーケットが大きく拡大したことから、全世界のクルーズ人口も増えており、今後10年間で120隻を超える新たなクルーズ客船が建造される予定です。

下関港や北九州港などは、大陸から近いという地理的優位性のもと、中国発着のクルーズ客船が多数寄港しています。多くは上海や天津を出港し、日本の港1〜2ヶ所に寄港し中国に帰る、4泊5日程度のショートクルーズです。大型客船が多く、今まで寄港した中で最大となる17万トン級の客船は、乗客4,000人+乗組員1,500人、全長は350m近くあり、高さの関係で関門橋の下が通れない程の大きさです。

そのような客船を誘致するための活動を、下関市と北九州市は連携して行っており、私も、平成30年に北九州市の職員と共に上海〜広州〜香港を訪問し、昼夜問わず(?) 精力的に営業活動を行いました。

下関港は、平成31年、国から国際旅客船拠点形成港湾いわゆる国際クルーズ拠点港に指定されました。これは、クルーズ船社と港湾管理者が協定を結び、クルーズ船社が旅客ターミナル等の施設を整備することで、港湾管理者がその船社に港の利用の優先権を与えるという新たな制度です。





下関港はスイスに本社を置くMSCクルーズ社と、沖合人工島“長州出島”において、この事業を進めています。新たなクルーズ専用岸壁を国が整備し、その背後を市が埋め立て、その上にMSCクルーズ社が旅客ターミナルを建設するものです。工事は平成31年度からスタートしており、令和5年の春に供用開始の予定です。これにより、令和5年に120回、令和17年に180回の客船寄港を目指します。

想像してみてください、ほぼ2日に1回客船が入港するということは、下関そして関門地域が多くの外国人で賑わうということです。素敵だと思いませんか。

このように、ウォーターフロント開発、クルーズ拠点形成により、令和5年以降、下関市は“みなと”を中心に大きく変わっていきようとしています。



どうぞご期待ください。

## ～新任ご挨拶～



令和2年4月1日付けで、第23代下関市東京事務所長を拝命いたしました、津野貴史と申します。

かんもん北九州ファンクラブの皆様におかれましては、首都圏でふるさとのための活動を永く続けておられ、また下関市東京事務所についても大変可愛がっていただいております、職員一同心から御礼申し上げます。

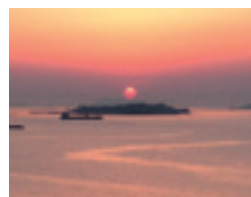
さて、私がどのような輩なのかと申しますと、昭和40年（巳年）生まれの54歳、さそり座のAB型です。大学卒業後、下関大丸に9年半、市内の時計製造会社に2年半勤務し、35歳の時下関市役所に入庁しました。市役所では、福祉、商工業振興、企画業務に従事し、直前は港湾局で集貨活動やクルーズ客船の誘致を行っていました。

家族構成は、妻、娘2人（中3、小2）の4人家族で、単身赴任です。趣味はスポーツ（サッカー、スキー）、バイク（45歳で免許取得）、音楽鑑賞、映画鑑賞、読書等々、浅く広くです。

### 下関のおすすめ風景（日常風景編）



こんな、ある意味日本的な風景をバイクで探し回っています



住んでいる彦島から見る、馬島に沈む夕日

今後も、下関市東京事務所は、素晴らしい関門地域の発展に向け全力を尽くしてまいりますので、皆様におかれましても、引き続きお力添え賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

結びに、かんもん北九州ファンクラブの一層のご発展と、会員皆様のますますのご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## ふるさと北九州市応援寄附金（ふるさと納税）のご案内 ～令和元年度の寄附受入額は過去最高～

### <令和元年度寄附受入額は過去最高>

北九州市へのふるさと納税受入額は年々増加傾向にあり、令和元年度の寄附受入額はふるさと納税制度が始まって以来、過去最高となりました。遠方からの温かいご支援ありがとうございます。

平成29年度 36,813,175円

平成30年度 197,778,518円

令和元年度 498,161,796円（H29年度の13.5倍）

### <そもそもふるさと納税ってなに？>

“ふるさと納税”とは、故郷（ふるさと）や応援したい自治体へ贈る寄附のことであり、ふるさと納税（寄附）をすると、ふるさと納税（寄附）額のうち2,000円を超える部分が全額控除されます（個人の所得に応じて控除される金額に上限があります）。

例えば、東京都に在住の方（年収400万円、共働き）が北九州市へ50,000円をふるさと納税すると、東京都に納める住民税が48,000円減少し、さらに北九州市から寄附のお礼として、50,000円の30%程（15,000円）の特産品等をお贈りします。

### <令和元年度の主な取組>

北九州市ふるさと納税の寄附者へのお返しの品（返礼品）は「質」「量」とともに大幅に魅力アップしています。

平成29年度までは返礼品の調達を一事業者にお任せしていましたが、平成30年度以降は市職員が直接交渉を行うことで、返礼品提供事業者のご協力も得られ、寄附者にとって魅力があるものをご用意することが可能となりました。

また季節に応じた特産品や限定数量の返礼品など、今後も新しい返礼品を随時登録していきます。

お選びいただける返礼品一覧は、インターネットからご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

### ■ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」



### <新型コロナウイルス感染症対策に活用します>

令和2年5月15日より、ふるさと納税制度を活用した新しいプロジェクト『「コロナに負けない、北九州の底力」～あなたの想いがコロナと戦う人たちを支えます～』を開始し、多くの皆様からのご寄附の受付を行っております。いただいた寄附金は、

#### ●医療・福祉関係者への支援に

（医療資材の購入など）

#### ●深刻なダメージを受ける事業者への支援に

（感染予防のための新しい生活様式への対応など）

に活用させていただきます。なお、こちらのプロジェクトへの寄附は、税額控除の仕組みは適用されませんが、返礼品の贈呈はありません。

### 【北九州市長からのメッセージ】

新型コロナウイルスの感染拡大により、北九州でも、市民生活全般にこれまでにない不安と深刻な影響が生じています。

そのような中、最前線の現場で働かされている医療・福祉関係者の方々、そして休業要請・協力等により、深刻な影響を受けている事業者の方々、こうした方々を支援するため、本プロジェクトを立ち上げました。是非とも皆様のお力を貸してください。

市民の皆様、事業者の皆様にもご協力をいただきながら、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に努め、一日でも早く終息して、平穏な日常生活が戻るように皆さんと一丸となって、この難局を乗り越えていきたいと思っております。

### <ふるさと納税の方法は？>

お申込はインターネットから。

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」からお手続きいただけます。

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/40100>





## 新任挨拶—よろしくお願いたします

北九州市東京事務所長 大迫道広

かんもん北九州ファンクラブの皆様には、常日頃からふるさと北九州の発展のためにご支援賜りまして、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、本年4月、北九州市東京事務所長を拝命しましたが、着任早々の4月8日には、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出され、感染拡大防止の観点から外出自粛や休業要請等により、不自由な暮らしを余儀なくされました。今回で3度目の東京事務所勤務となりますが、これまで経験したことのない状況でした。

そのような中、新型コロナウイルスと共存するための新しい生活様式が求められ、さらには感染拡大防止のみならず疲弊した経済に対する対策も進められています。

このような状況においても、当事務所として、本市に関心を持っていただく方を増やし、観光やコンベンションで訪れる方や移住・UIターンで住んでいただく方を増やしていくことを目的に様々な取組を行っています。

平成28年に事務所を交通利便性の高い有楽町駅前へ移転し、北九州市ゆかりの方々や地元企業の皆様にもご利用いただきやすくなりました。かんもん北九州ファンクラブの皆様方も是非、ご活用いただきたいと思います。

新型コロナウイルスの影響が一刻も早く収束することを心から願うとともに、ふるさと北九州の発展のため、今後とも頑張ってまいりますので、これまで以上にご支援、ご協力賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 略歴

昭和61年

平成16年4月～平成19年3月

平成25年4月～平成28年3月

令和2年4月～

福岡県立北筑高校卒業

総務局東京事務所主査

産業経済局首都圏企業立地支援担当課長

企画調整局東京事務所長



### <当事務所の活用事例> 活用実績：[R1] 計22件、来場者1,725名 [H30] 計33件、来場者733名



北九州ライフセミナー  
(移住セミナー)



特命大使・篠崎史紀氏  
ヴァイオリンコンサート



高倉健 主演映画ポスター展

### <イベントにおける本市の魅力発信>

KitaQフェス in TOKYO 令和元年11月開催：来場者12,650人（2日間合計）

◆東京での本市の認知度・イメージの向上 ◆地元就職やU・Iターン、移住を促進



観光大使のロバートライブ



地元グルメ販売



北九州企業就職フェア

北九州市東京事務所

《住所》東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館6階 《電話》03-6213-0093

《開所時間》9:00～17:45（月～土曜日）※土曜日が祝日の場合はお休み

当事務所  
Facebookはこちら



## 編集後記

梅原英毅・編集委員長（副代表）



武漢コロナウイルスの猛威はすごいですね。最近国内はようやく落ち着きを見せてきましたが、それでもこの編集後記を作成している時点でも、東京都は2ケタの感染者が出ている状態です。国内では「新型コロナウイルス」と呼ばれるこの疫病（武漢コロナ）は、リーマンショックを上回るという経済ダメージを世界中にまき散らし、更に2波、3波が予想されると言いながら、南半球では1波の感染者が増大しているようです。早く収まって日常が来ることを祈っています。

さて、そのコロナ騒ぎで編集会議も出来ず……、とにかく集まってはだめで、しかも年寄りが多いのでテレワークの環境も作れなくて……（笑）、発行日も大幅遅れになりました（すみません）。また、KKFCのイベントが全部なくなったため、記事が作れないので、皆さんの趣味の紹介などの募集を行い（委員にロードをかけて）なんとか記事を集めて出来たと言うのが今月号です。

したがって先月号からスタートした「俳句教室」をはじめ、会員の故郷の話、活躍している会員の芸能人の話だとか、いろいろなものが出てきました。ただ、本会員には文化人が多いので、結構皆様方の知らないものが紹介されて、面白いものになったかなとも思います。

今回はそんな状態だったので、特に編集委員の方々にご迷惑をおかけしながら、なんとか広報誌が出来ました。ご努力に感謝致します。

今後とも原稿をよろしくお願い申し上げます。



赤間神宮（下関市）

## 目次

P 1	巻頭言	P13	下関市東京事務所長 新任ご挨拶
P 2	第43回歴史講演会のご案内 第45回歴史講演会のご案内 暑気払い中止のご連絡	P14	ふるさと北九州市応援寄付金のご案内
P 3	私の疫病神対策	P15	北九州市東京事務所長 新任ご挨拶
P 4	【遊・食・自然の里】豊前市の紹介	P16	編集後記/目次
P 5	会員寄稿		協賛広告（ア～オ順）
P 6	わたしとシャンソン		アイエフシー株式会社 P11
P 8	高校物語「小倉高校 その3」		北九州市 P 9
P10	俳句コーナー		北九州予備校 P 7
P12	令和に飛躍！下関港		株式会社ギラヴァンツ北九州 P16
			湖月堂 P 6

協賛  
広告



**Giravanz**  
KITAKYUSHU

**CHANGE**  
For Kitakyushu  
～この北九州のために～

ギラヴァンツ北九州 代表取締役社長 玉井行人  
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-1-26 あべりあ浅野ビル

本年度の諸情報の詳細については、  
ギラヴァンツ北九州HP をご参照下さい。  
<http://www.giravanz.jp/>